

学校目標・経営方針										
本年度の重点目標	1 学力の向上を図る									
	2 スーパーグローバルハイスクールとして、探究する能力と態度を養う									
	3 主体性、社会性を育てる									
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">達成度</td> <td>A</td> <td>ほぼ達成できた。(8割以上)</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>概ね達成できた。(6割以上)</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>不十分である。(4割以上)</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>達成できなかった。(4割以下)</td> </tr> </table>	達成度	A	ほぼ達成できた。(8割以上)	B	概ね達成できた。(6割以上)	C	不十分である。(4割以上)	D	達成できなかった。(4割以下)
達成度	A		ほぼ達成できた。(8割以上)							
	B		概ね達成できた。(6割以上)							
	C		不十分である。(4割以上)							
	D	達成できなかった。(4割以下)								

山梨県立甲府第一高等学校校長 堀井 昭	
評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価			
本年度の重点目標		年度末評価(平成31年3月29日現在)	
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	学力向上の推進	①55分授業・ユニット制の有効活用 ②相互授業参観の推進 ③授業改善のための教科会議の積極的な実施 ④シラバス・学習計画表「日立新」・各種テストの有効活用	①アンケート評価による達成率80%を目標 ②実施回数 ③実施状況 ④アンケート評価による達成率70%
		①主体的・対話的で深い学びの実現 ②授業との有機的な関連を図った家庭学習の推進 ③各種講座、学習会、模試への積極的な参加の促進 ④自習室・図書館の有効利用	①②アンケート評価による達成率70%を目標 ③利用状況を中心に評価
2	探究する能力・態度の涵養	①ドリームリアルプラン(DRP)・進路講演会及び「総合的な学習の時間」によるキャリアデザインの探究 ②大学出張講座による学びの深化	①②アンケート評価による達成率70%を目標
		①「グローバル探究」及び「総学」による論理的な思考力・判断力の涵養 ②探究活動を通じての批判的思考力、問題解決能力、実践的コミュニケーション能力の育成 ③探究活動における生徒の学習意欲向上につながる評価のあり方の研究	①「自分の考えに基づく表現」「仲間との協力による発表」を中心に評価 達成率80%を目標 ②評価達成率80%を目標 ③事後の検証
3	主体性・社会性の育成	①いじめ防止に向けた取組の推進 ②強行遠足を通じての体力、精神力、社会性の涵養 ③キャリア関連事業の充実 ④学校内外の環境美化活動や施設訪問等、ボランティア活動の充実	①いじめ実態調査 ②強行遠足アンケート評価による達成率80%を目標 ③実行委員会での検証 ④参加者数

学校関係者評価	
実施日(平成31年3月22日)	
評価	意見・要望等
3	【シラバスについて】 ・シラバスという言葉を使わず、生徒にとってわかりやすい「学習の手引き」「年間計画表」を示せば良いと思う。 【進路行事について】 ・進路に関して、休日を含めて様々な行事がある。生徒の進路実現のために先生方が様々な取り組みをしていることが理解できた。学校全体の働き方改革に関して行事の精選ができたらよい。 ・休日を含めて様々な進路行事がある。生徒の進路実現のために先生方が様々な取り組みをしていることが理解できた。学校全体の働き方改革に倣って行事の精選ができたらよい。
	【SGH・探究科について】 ・SGH最終年度で大変多忙な1年だったと思う。来年度の後継事業も不確実な状態であるが、一高としての探究活動を推進して欲しい。 ・SGHの事業が今年度で終了するが、スーパーグローバルと標榜しておきながら地域の実践的な研究が多い。実業高校で行うような活動ではなくアカデミックな研究があってもよい。 ・SGH最終年度で大変多忙な1年だったと思う。来年度の後継事業も不確実な状態であるが、一高としての探究活動を推進して欲しい
	【いじめ防止】 ・積極的にいじめの把握に努め、分析・対策を効果的に実施している。 ・いじめが少ない点は大変喜ばしい事であるが、ネットやSNSが当たり前の現代社会の中で、困って相談できない環境にならないように注意を払ってもらいたい。 ・一高には深刻ないじめがなく安心している。「相談できる先生がいる」と思っている生徒が7割近くいるので、今後も生徒が気兼ねなく相談できる体制を続けてほしい。 ・いじめに対しては早め早めの対応をして、健全な学校運営を行っている。 【強行遠足について】 ・今後生徒や教員が減少することが予想されるが、永く続けられるように安全を最優先に人員の配置等の見直しを行って欲しい。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的な対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。